

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	土木建築部河川課
評価対象期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	大分県リバーパーク犬飼	施設種別	レクリエーション・スポーツ
	所在地	大分県豊後大野市犬飼町大字田原字舞田		
	設置目的	大野川の優れた景観を生かし、スポーツ及びレクリエーションの場を提供することにより、県民の健康で文化的な生活の向上を図る。		
指定管理者	名称	豊後大野市		
	代表者名	豊後大野市長 橋本 祐輔		
	所在地	大分県豊後大野市三重町市場1200		
指定管理業務の内容	① リバーパーク犬飼の施設等の維持管理及び修繕に関する業務 ② リバーパーク犬飼の利用の受付及び案内に関する業務 ③ リバーパーク犬飼の利用の促進に関する業務 ④ 前各号に掲げるもののほか、県が特に必要と認める業務			
料金制度	利用料金 ・ 使用料 ・ 該当なし			
指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日(5年間)			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	
1	施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み
	(1)施設の設置目的の達成
	①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。
	②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。
	③複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。
	④施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。
	【所見】
	○ リバーパーク犬飼は、開設当初から県が整備する多目的グラウンドと艇庫、豊後大野市が整備するキャンプ場、テニスコート、アスレチック等を市が一括して管理することで効率的・効果的な運営が図られている。 多目的グラウンドの利用者数は、26年度の13,154人から27年度の11,424人に減少した。これは経費節減のため、27年度から冬芝の張替を中止したことが少なからず影響したものと考えられるが、目標の10,500人を上回っている。 芝の管理を含めサッカー場の質と管理人との信頼関係があることから、クラブチームや県内の高校、中学校のサッカー部が継続的に利用しており、大会や合宿などの利用形態が定着してきたと言えるが、新規の利用団体が無く、利用者は増えていないため、今後は新規利用の開拓が必要である。
	(2)利用者の満足度
	①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
	②利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
	③利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
	④利用者への情報提供が十分になされたか。
	⑤その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

<p>【所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「利用者満足度調査」を以下の項目で行った結果、いずれの項目も満足度の高い結果となった。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①利用手続きの容易さ</li> <li>②職員の対応の親切さ</li> <li>③職員の説明の分かりやすさ</li> <li>④施設の手入れの状態</li> <li>⑤トイレ、シャワー室の清掃の状態</li> <li>⑥利用料金の設定</li> <li>⑦全体的満足度</li> </ul> </li> <li>○ 職員による現地調査においても、清掃等管理状況等は良好であった。</li> <li>○ 芝管理についても、年間通しての管理委託（芝刈・施肥・散水）を行い、適切に管理している。</li> <li>○ 施設管理上問題となるような苦情はなく、利用者の多くが施設の管理状態に満足していると思われる。</li> </ul>
<p>2 効率性の向上等に関する取組み</p> <p>(1)経費の低減等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。</li> <li>②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。</li> <li>③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。</li> </ul> <p>【所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ リバーパーク犬飼は、指定管理施設の管理運営費を利用料金で賄うこととしており、県からの委託料の支出はない。指定管理施設の維持管理にかかる経費の内、人件費等は市の管理するリバーパーク犬飼と共通経費としている。施設利用収入は年間2,778千円、維持管理は4,722千円となっており、不足分は豊後大野市で負担している。 27年度には冬芝の植替中止による収支の改善は若干みられるものの、施設や芝刈り機等も老朽化しており修繕料の負担も強いられている。今後も年間を通じ安定した利用環境の維持継続を図るためには、ある程度の負担も必要であるが、不要な修繕が発生しないよう備品等の取扱いには注意を要する。</li> </ul> <p>(2)収入の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</li> </ul> <p>【所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 27年度の利用料金収入は2,778千円、24年度から3年連続利用料金収入が増加したが、ここに来て頭打ちとなった様子である。収入を増加するためには、利用者増の必要があるが、芝のコンディション維持との関係で一昨年の年間13千人の利用が限界であり、利用料金の値上げも、現状の料金が他のサッカーグラウンドに比べ割安とはいえないため難しい。 管理人との信頼関係を維持することや、利用が落ち込まないようにサッカー以外の利用についても検討している。</li> </ul>
<p>3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み</p> <p>(1)施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。</li> <li>②職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか。</li> <li>③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。</li> </ul> <p>【所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設の管理運営は、隣接する市管理のリバーパーク犬飼と一括してベテラン職員が合理的かつ適切に対応し、利用者満足度調査においても、職員の対応は高評価を得ている。</li> </ul> <p>(2)平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①関係法令（地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等）が遵守されているか。</li> <li>②施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。</li> <li>③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。</li> <li>④施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。</li> <li>⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。</li> <li>⑥防犯、防災対策等の危機管理体制が適切であったか。</li> <li>⑦事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。</li> </ul>

## 【所見】

- 施設の利用受付に当たっては、大会の開催日程などには配慮しつつ、施設設置条例及び関連規定等を遵守し、利用目的を確認し、公平・平等な取り扱いを確実にしている。また、適正なスタッフの配置により、適切な安全管理に努めている。
- 安全管理体制や災害発生時の対応については、安全管理マニュアルを整備し緊急時に備えている。
- 基本協定に基づいた施設や貸与物品の補修は迅速かつ適切に行われている。

## 【総合評価】

## 【所見】

- 施設は市のリバーパーク犬飼と一括して行うことで効率的・効果的な管理運営が行われており、利用者の満足度も高い。事業収支に関して、多目的グラウンドは芝生のコンディション維持との兼ね合いもあり利用者の大幅増加はできない。利用料金を上回る経費をかけて管理運営を行うことが将来も可能かどうか疑問が残るが、総じて安定した利用者確保について評価できる。

## 【今後の対応】

- 冬芝の植え替えを中止したため利用者が減少したが、赤字運営が続く以上、これ以上経費負担を強いることはできず、今後もサービスレベルを落とさずに目標利用者数を確保するためには、広報活動やサッカー以外の利用も視野に入れて取り組むべきと考える。

## 【指定管理者評価部会の意見】

- 艇庫の管理は整理が適切に行われているが、多目的グラウンドの管理状況のレベルは低下している。
- 管理コストの逡減は一定程度必要であるが、芝の管理状況は一昨年、昨年と悪化している。県として、求める水準や方向性を示す必要があるのではないか。
- 芝刈、散水の業務計画が年度途中に変更されており、計画より少ない回数で実施されている。芝の管理及び芝を再生するためのコストがかかることからすれば、計画どおりに実施する必要があったのではないか。
- 多目的グラウンドの利用料金が高いため、現状ではサッカー以外の用途に限られるということであるが、芝の管理状況に応じた利用料金を検討できないか。
- 利用者アンケートは、個人よりも利用団体に対して実施すべき。